

共用品推進機構だより 2016年07月22日 (16)

目次

(76) 共用品推進機構関連記事

▽「わたし共用品 マニュアルを超えて／星川安之」

▽「医療機関での障害者対応調査／星川安之」

▽「ブログを更新しました！」

(77) 各種催しとお知らせ

▽「京王プラザホテル 労使共催チャリティイベント

『第13回ボランティア・プラザ』開催のお知らせ」

▽「『UDプラス in はままつ 2016～トーク&セッション～』開催のお知らせ」

(78) サービス関連記事

▽「買い物宅配支援／イオン、日本郵便」

(79) 行政関連記事

▽「若年性認知症 支援窓口を開設／富山県」

(80) その他、各種関連記事

▽「高齢者支援ロボ研究加速／玉川大学、トヨタ自動車」

(81) 新刊紹介

▽『発達障害者と自動車運転 免許の取得と教習のためのQ&A』

▽『特別支援教育と博物館 博学連携のアクティブラーニング』

▽『JIS マーク認証の手引 JIS 工場必携 増補改訂版』

(76) 共用品推進機構関連記事

▼「わたし共用品 マニュアルを超えて／星川安之」

「車いすを使用している友人と、こちらのお店で食事をしたいのですが」と、地下1階にある高級レストランと、ピザのチェーン店に同じ質問をしたのは、今から20年前のこと。

どちらも階段しかないお店でしたが、異なる答えが返ってきました。高級レストランからは、「階段しかないため、お断りしています」と返ってきたのに対し、「こちらで抱えて降りますから」と言ったところ、『マニュアル』でそうなっておりますので」の一点ばりでした。

次に、ピザ店に半ば諦めながら問い合わせると「どうぞいらっしゃってください」と真反対の答えが返ってきました。さらに「私たち従業員が、車いすを使用のお客さまには4人で抱えさせていただいております」とのこと。混んでいる時は?と質問すると「お客さまの中で手伝ってくださる方もいます」と、嬉しそうに答えてくれました。

駅に自動改札が導入される前、有人改札で多くの白い杖をついた人達が経験したことがあります。それは「改札口の位置が分からないでいると、駅員さんが、切符を切る『カチカチ』という音を普段よりも大きな音を出して、改札口の位置を知らせてくれる」という経験です。

この4月から障害者差別解消法が施行されました。それぞれの機関で合理的配慮に関して「マニュアル」が作られる動きもありますが、ピザ屋さんや駅員さんの臨機応変さが失われないことを願います。

(シルバー産業新聞 7月10日17面より抜粋)

▼「医療機関での障害者対応調査／星川安之」

共用品推進機構では昨年度、「医療機関における良かったこと調査」を実施し、報告書としてまとめ、ホームページで公開しました。

長年、各障害別及び高齢の人たちに対し「不便さ調査」を行い、報告書としてまとめてきました。しかし、「不便さ調査」は、いわばマイナスだったところをゼロに戻す役割を担っています。そのため、ゼロからプラスにするためには、不便なところを指摘するだけでなく、異なる考え方が必要でした。

そして辿り着いたのが、良かったことを多くの関係者で共有すること、つまり「良かったこと調査」です。今まで「旅行」「コンビニ」を対象に行ってきた「良かったこと調査」は、その報告書を読んだ多くの関係者から「目

からウロコが落ちた」との感想をもらっています。

調査は前半で回答者のフェースシート、後半では「外来」と「入院」の2つに分け、それぞれ「人的対応」と「設備」、つまり「ソフト」と「ハード」に分けて聞き、まとめています。回答者数は534名、自由意見の総数は2959件にも及んでいます。回答の多くは、医療機関以外でも応用可能なことです。是非、一読いただけたらと思います。

(エルダリープレス—シニアライフ版— 2016年8月号より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

・日本福祉大学スクーリング (長野市)

・柏市役所 経済産業部の皆様へ講義

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

(77) 各種催しとお知らせ

▼「京王プラザホテル 労使共催チャリティイベント

『第13回ボランティア・プラザ』開催のお知らせ」

「京王プラザホテルの企業としての取り組みを多くの方に知ってほしい、そして私たちひとりひとりの力を合わせれば何か社会に貢献できるのではないか…」という思いから、この「ボランティア・プラザ」が企画・運営されています。今回は夏休みに親子で楽しみながらバリアフリーを身近に感じていただくとともに「さまざまな支援のカタチ」をご紹介できればと考えています。

日時：2016年8月4日(木) 10:30~17:00

会場：京王プラザホテル(新宿) ボランティア・プラザ総合受付 本館43階
入場無料

イベント内容

・親子で聴くチャリティコンサート

開場：13:00 開場/13:30 開演(約45分) ※【要予約】

料金：大人3000円/小人(小学生)1000円

出演：打楽器奏者 福島喜裕(日本フィルハーモニー交響楽団)、

阿部智子、三井理世

※事前予約の上、当日ボランティア・プラザ総合受付にお越しく下さい。

※お席はお申込みいただいた順となります。

◎チャリティコンサートのお問合せ・ご予約

03-3344-0251【宴会予約直通】

・手話ワークショップ

①10:45～、②12:15～、③14:15～ 各回約45分

③14:15～の回はチャリティコンサートにつづき、同じ会場で開催します。

・骨髄バンクドナー登録・献血コーナー

・ホテルスイーツのプレゼント付き献血・骨髄バンク登録会

・補助犬デモンストレーション

・ホテル内バリアフリー施設見学ツアー

時間：①11:00～／②14:30～（各回約60分）

・チャリティカレーランチ

時間：11:30～14:00 1食1000円

・体験コーナー

時間：10:30～17:00

・展示ブース

・打ち水大作戦／主催 新宿CSRネットワーク

時間：17:15～18:00

場所：オールデイダイニング<樹林>歩道

・収集ボランティア協力をお願い

ベルマークや使用済切手、書き損じ官製ハガキ、外国コインをイベント会場受付にて回収しております。ご協力をお願いいたします

問い合わせ

京王プラザホテル パーズアイ事務局 城所（きどころ）、井上（いのうえ）

TEL. 03-3344-0111 受付時間 10:00～18:00（土・日・祝休み）

京王プラザホテル 労働組合 中村（なかむら）

TEL：03-3344-1449 FAX：03-3344-1455

受付時間：10:00～18:00（土・日・祝休み）

<http://www.keioplaza.co.jp/corporate/csr/birdseye/vp.html>

▼ 『UDプラス in はままつ 2016～トーク&セッション～』開催のお知らせ

静岡県では、誰にとっても「楽しい・魅力的」といった付加価値をプラスした先進のユニバーサルデザイン（UD）の取組や製品などを広く情報発信するイベントを産学官の協働で開催します。

今回は県民の皆様へUDの新たな発見を実感していただくため、UDと音楽のコラボによる楽しさや可能性について考える体感型シンポジウムを実施いたします。

日時：平成28年8月27日（土）13:30～16:00（受付開始：13:00）

場所：静岡文化芸術大学講堂（浜松市中区中央）

定員：150名（事前申込）

内容

- ・セッション1『共遊楽器』の取り組みとその可能性
共遊楽器を利用して音と光を融合し、すべての人が楽しめる最先端のUD+MUSICについて講演します（実演を含む）。
講師：慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科研究員・共遊楽器開発者
金箱淳一（かねばこ じゅんいち）氏
- ・セッション2「UD+Musicの開発」
静岡文化芸術大学の「UD+Musicプロジェクト」に所属する学生達がUDと音楽の融合について研究成果を発表します。
発表者：静岡文化芸術大学生
- ・セッション3「UD@beat」（ステージパフォーマンス）
著名な音楽家である橋田ペッカー正人氏によるトークと、年齢や国籍、障害の有無などを問わず、すべての人が音楽の楽しさを共有する『ドラムサークル』を実演します。
ファシリテーター：橋田ペッカー正人（はしだぺっかーまさひと）氏

★情報保障 手話通訳、音声をテキスト化するアプリ「UDトーク」によるコミュニケーション支援があります。

★その他 会場内での配慮が必要な場合は、申込の際にお知らせください。

参加申し込み：以下の連絡先に電話、ファックス、メールのいずれかで、氏名、連絡先をお伝えください。

電話番号：054-221-3153 ファックス番号：054-221-2642

メール：shohi@pref.shizuoka.lg.jp

★詳細については、ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/ud/udplus/oshirase.html>

※翌日には、誰にとっても演奏がしやすい楽器等の展示や誰にも優しいパーソナルモビリティとしての乗り物の体験試乗を通じて広く UD を紹介する展示会も開催します。

平成 28 年 8 月 28 日（日）10：30～16：30
浜松市ギャラリーモール「ソラモ」（遠鉄百貨店横）
〒430-0934 浜松市中区千歳町 91-1

（78）サービス関連記事

▼「買い物宅配支援／イオン、日本郵便」

イオンは日本郵便と進める高齢者向け買い物支援サービスを拡大する。インターネットを通じて顧客が注文した商品をイオンの店舗が集荷し、郵便局の配送車両がイオンの代わりに届ける。これまで山梨県の 1 店で実施していたが近く千葉市にも広げるほか、イオン側が移動販売車を用意するなど多様な事業モデルの構築を目指す。

日本郵便が高齢者向けに提供する「みまもりサービス」の一環として手掛ける。小売店を頻繁に訪ねて買い物をすることが困難な高齢者に、日本郵便が専用のタブレット端末を貸与。端末上で発注すると、指定した時間にイオンが店内で商品を集荷し、郵便局の配送車が店で荷物を受け取って高齢者宅に届ける。

（日経MJ 7 月 22 日 9 面より抜粋）

（79）行政関連記事

▼「若年性認知症 支援窓口を開設／富山県」

富山県は若年性認知症を発症した患者や家族らを支援する総合窓口「富山県若年性認知症相談・支援センター」を県総合福祉会館(富山市)に開設した。県社会福祉協議会が運営主体となる。コーディネーターが発症者本人や家族、企業の労務担当者らからの相談に対応する。医療、介護関係者による支援

ネットワーク会議を開くほか支援に関わる関係者の研修も行う。

(日経MJ 7月22日9面より抜粋)

(80) その他、各種関連記事

▼「高齢者支援ロボ研究加速／玉川大学、トヨタ自動車」

玉川大学は高齢者向けロボットの研究を加速する。トヨタ自動車と協力し、同社が開発中の家庭用ロボを活用。実際に入居者のいる高齢者施設内でロボを動かす実証実験を今秋にも実施するほか、世界最大のロボ競技会で高齢者を支援する動きを競う部門に出場することを目指す。高齢者を支援するロボに対する期待は大きいことから研究を急ぐ。

トヨタが開発を進める家庭用ロボ「HSR(ヒューマンサポートロボット)」を使う。同社から無償でHSRを借り受け、稼働のためのソフトを改善する研究を進める。

(日経MJ 7月22日9面より抜粋)

(81) 新刊紹介

▼『発達障害者と自動車運転 免許の取得と教習のためのQ&A』

自動車運転免許取得に関して、発達障害者の抱える課題を明らかにし、具体的支援方法についてQ&A形式で解説。実際に免許を取得した発達障害者本人の事例、発達障害者の受け入れ態勢を整備している自動車教習所の実践も紹介。

編著：梅永雄二（うめなが・ゆうじ）

著：栗村健一（くりむら・けんいち）

発行：エンパワメント研究所

本体価格：1200円（税別）

ISBN：978-4-90757642-4

▼『特別支援教育と博物館 博学連携のアクティブラーニング』

ミュージアムリテラシーを育むために！ 障害をもつ子どもたちが博物館を利用する時の障壁を、ノーマライゼーションの理念から検証し、楽しみながら学習する"博学連携"の実践理論と展望を指し示す。

編：駒見和夫（こまみ・かずお）筑波大学附属聴覚特別支援学校中学部

発行：同成社

本体価格：2300 円（税別）

ISBN：978-4-88621-729-5

▼ 『JIS マーク認証の手引 JIS 工場必携 増補改訂版』

2005 年 10 月施行の工業標準化法改正から 10 年間の積み重ねを踏まえ、JIS マーク表示制度運用に関わる事項を整理・解説。JIS Q 1001:2015/JIS Q 9001 (ISO 9001) :2015 対応。

編：日本規格協会

発行：日本規格協会

本体価格：3000 円（税別）

ISBN：978-4-542-30669-1

(編集後記)

昨日、勉強会に参加して、オリンピック・パラリンピック開催に向けたリオデジャネイロ空港の施設やサービスについて報告を聞いて参りました。メディアでは、治安や伝染病の媒介となる蚊の発生のお話が多く取り上げられていますが、空港のバリアフリーに関する取り組みへの入れ方には目を見張るものがあります。実際に現地を見てこられた航空会社の社員の方が講師をされていたので、大変説得力がありました。さらに、公にはできないけれど…といったことも話してくださり、有意義な時間を過ごすことができました。

(金丸淳子)

第 34 回バリアフリー推進勉強会

<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/details/20160721.html>

主催：交通エコロジー・モビリティ財団

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>